

広島県の農林水産業



令和2(2020)年4月



農業

1 農家

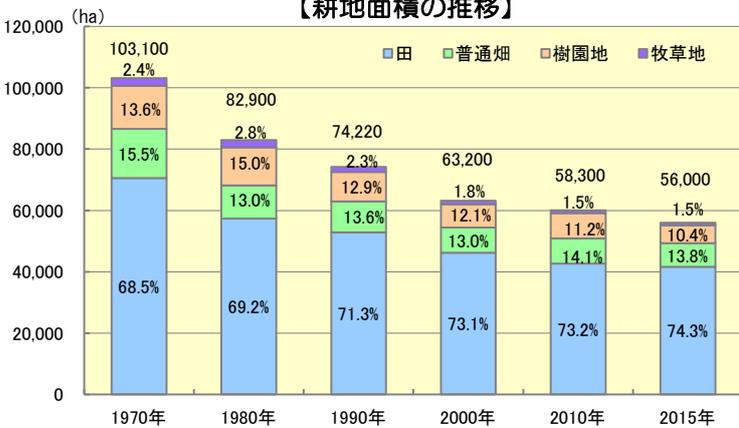
【主副業別販売農家数の推移】



本県の販売農家は、副業的農家が約7割を占めています。

2 耕地

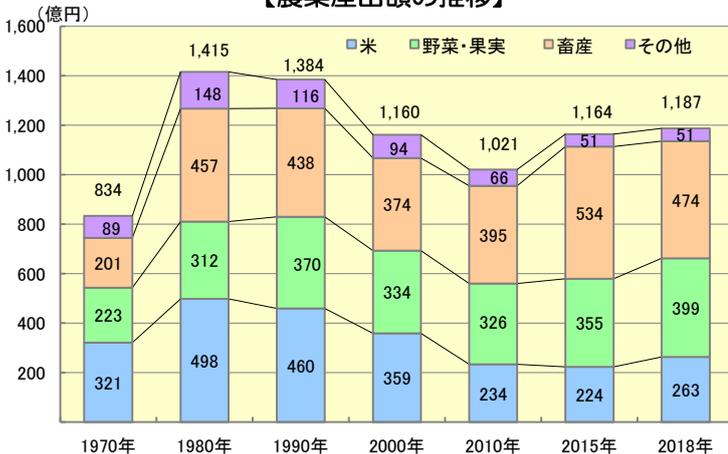
【耕地面積の推移】



本県の耕地は、地形的に急斜面水田が多く、農家1戸当たりの耕地面積は99aと低くなっています。

3 農業生産

【農業産出額の推移】



2018年の農業産出額は、1,187億円で、そのうち、畜産の占める割合が約4割となっています。

4 新規就業者数（農・林・水）



5 取組の成果

【集落法人数と経営面積の推移】



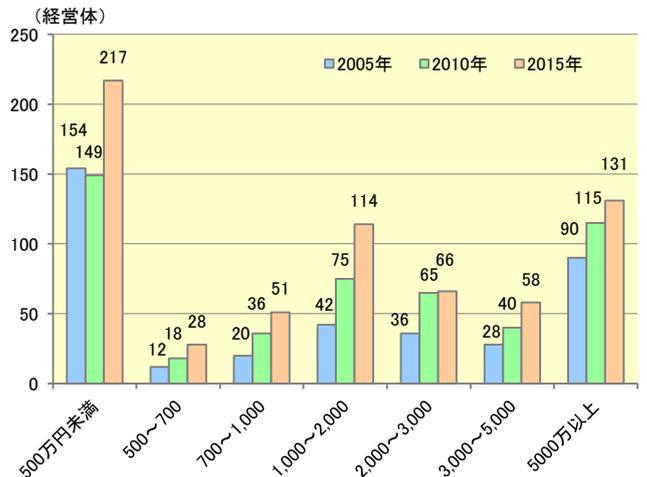
2000年から2015年にかけて、集落内の農地を集積した法人経営が増加し、2020年3月末現在の集落法人設立件数は、277法人となっています。

【販売農家数と経営耕地面積5ha以上の農家戸数】



販売農家が減少する中、5ha以上の耕地を経営する割合は増加し、着実に規模の拡大が図られています。

【法人化している農業経営体の売上高】



法人化する農業経営体は、数、売上高ともに増加しています。

【農産物生産額に占める担い手の生産額の割合】



地域の核となる経営力の高い担い手が、生産の相当部分を担う構造を目指しています。

注：農産物生産額は、農業産出額のうち、畜産を除く産出額。

農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。（年の記載がない数値については、2018年値。）

畜産

産出額 474億円（全国17位）

生産量

牛肉 8,010t
豚肉 5,036t
生乳 49,364t
鶏卵 129,712t **全国5位**



県内飼養戸数及び飼養頭羽数（2019年2月時点）

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	145	8,220	56.7
肉用牛	576	24,000	41.7
豚	25	110,800	4,432
採卵鶏	49	9,356,000	190,939
ブロイラー	9	765,000	85,000

《農業産出額の上位5品目》

1位	米	263 億円
2位	鶏卵	231 億円
3位	豚	85 億円
4位	肉用牛	68 億円
5位	みかん	55 億円

米

産出額 263億円（全国25位）

生産量 122,900 t

【生産量の多い品種】

コシヒカリ (25,588t) あきさかり (9,026t) あきろまん (5,021t)



※農産物検査ベース（確定値）

野菜

産出額 234億円（全国30位）

生産量 33,060t（県重点品目の計）

わけぎ
生産量 439t
全国1位



秋植えばれいしょ
生産量 1,980t
全国3位



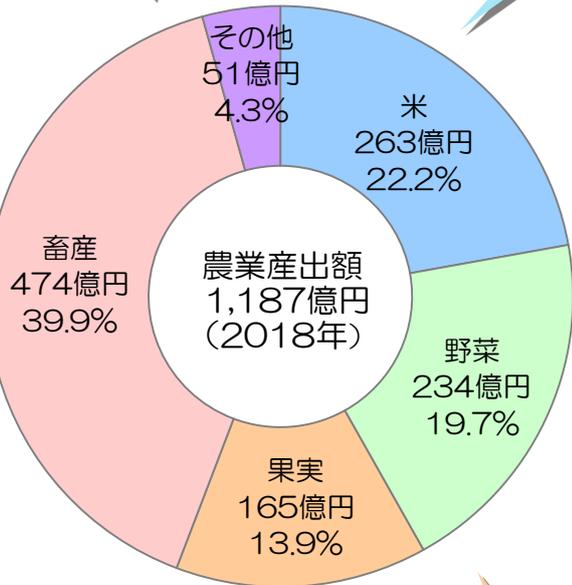
【生産量の多い野菜】

だいこん (11,200t) キャベツ (10,800t) トマト (8,890t)

【生産額の高い野菜】

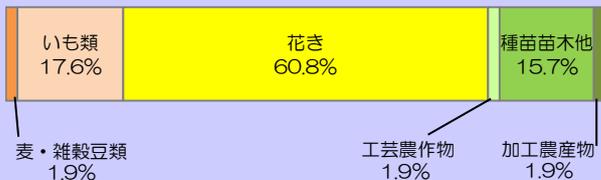
ねぎ (38億円) トマト (29億円) ほうれんそう (20億円)

農業産出額
1,187億円
(2018年)



その他

産出額 51億円



花き

産出額 31億円（全国32位）

出荷量 切り花類 36,000千本（2016年）

花壇用苗木の類 13,900千鉢

【出荷量の多い花き】

きく (2016年) (19,000千本) パンジー (4,650千鉢)

果実

産出額 165億円（全国14位）

生産量 12,373 t（県重点品目の計）（2017年）

みかん
23,700 t
全国8位



レモン (2017年)
4,790t
全国1位



ネーブルオレンジ (2017年)
2,164t
全国1位



【生産量の多い果実】

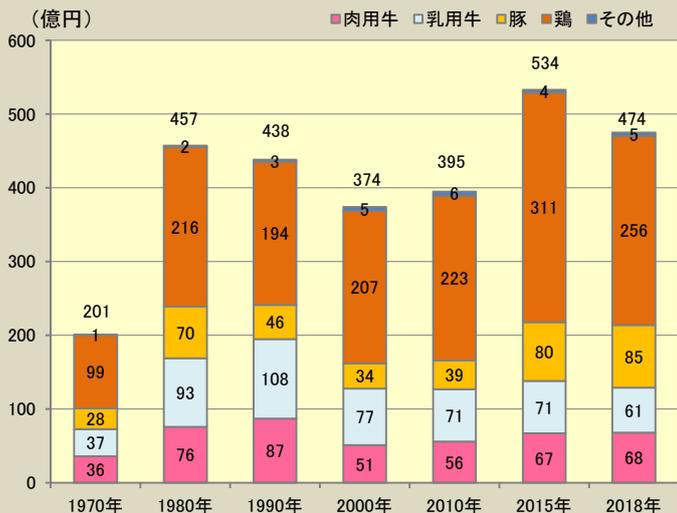
みかん (23,700t) はっさく (2017年) (5,203t) レモン (2017年) (4,790t)

【生産額の高い果実】

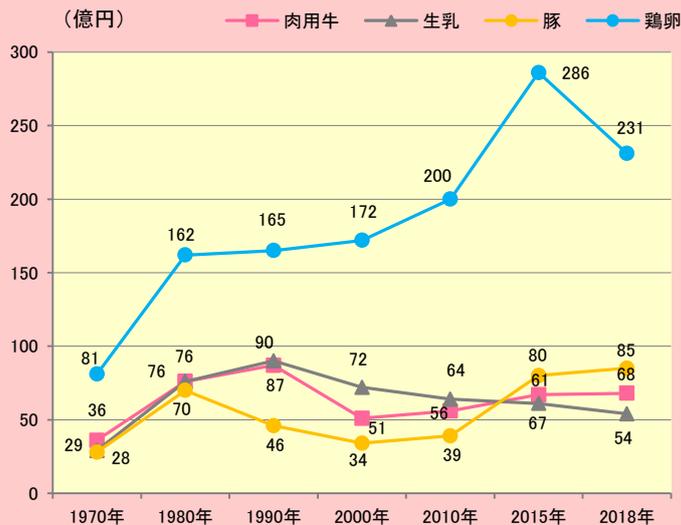
みかん (55億円) ぶどう (31億円)

畜産業

1 農業産出額の推移（畜産部門）



2 畜産品目別の農業産出額の推移



2018年の鶏卵の産出額は、茨城県、千葉県、鹿児島県に続き、全国第4位です。また、豚、肉用牛の産出額は2000年以降、増加しています。

3 肉用牛飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しています。

4 採卵鶏飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数及び卵の生産量は増加しています。

広島県農畜産物の生産状況

品目	調査時(年)	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)	
米	2018	23,400	122,900	263	
麦類	〃	284	453	0	
大豆	〃	499	449	1	
野菜	トマト	〃	185	8,890	29
	ねぎ	〃	427	7,860	38
	ほうれんそう	〃	394	4,330	20
	アスパラガス	〃	113	741	8
	キャベツ	〃	426	10,800	6
	わけぎ	〃	33	439	3
	きく	2016	73	19,000	8

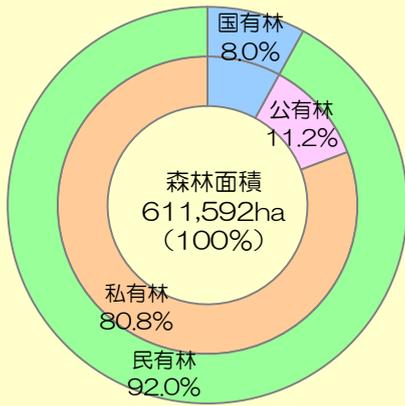
品目	調査時(年)	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)	
果樹	レモン	2018	265	3,569	13
	いしじ	〃	273	2,629	6
	はるか	〃	39	648	2
	ぶどう	〃	285	2,830	31
	いちじく	〃	61	692	5
畜産	鶏卵	2018	-	129,712	231
	生乳	〃	-	49,364	54
	肉用牛	〃	-	8,010	68
	豚肉	〃	-	5,036	85

注：麦類は、小麦、六条大麦、はだか麦の合計値。

出典：農林水産省「作物統計」他。なお、わけぎの産出額、ぶどう以外の果樹の作付面積、生産量及び産出額は県調べ。

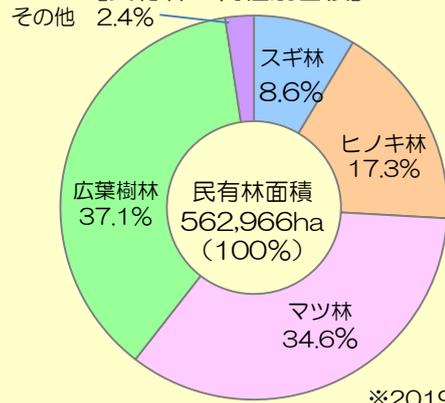
1 森林資源

【所有形態別構成比】



本県の森林面積は県土面積の72%にあたります。

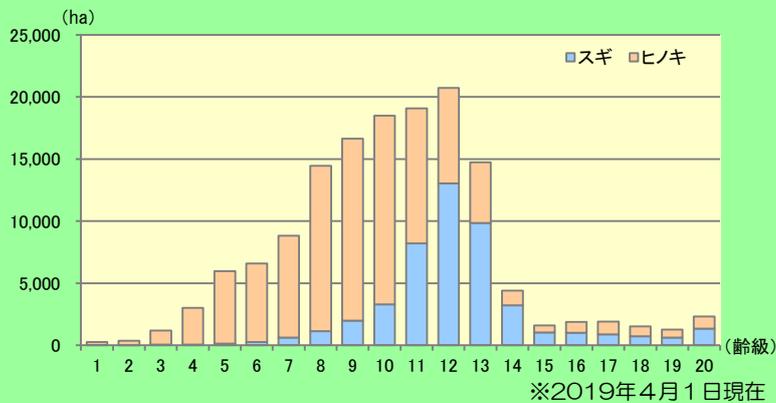
【民有林の樹種別面積】



※2019年4月1日現在

本県の民有林は、県北部地域を中心にスギ・ヒノキ等の人工林が、県中南部地域を中心に天然マツ林が広く分布しています。

2 人工林の齢級構成 (齢級：樹木の年齢を5年刻みで区分する単位)



5 県民参加の森づくり



住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れするなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行われています。

《ひろしまの森づくり事業(2007~2018)》
 人工林の間伐 11,977ha
 ボランティア活動支援 331,488人



3 木材生産の状況

【県内スギ・ヒノキ生産量の推移】



4 林業産出額の推移

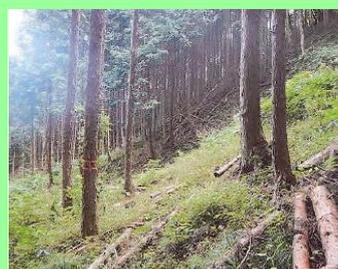


6 森林の保全



治山施設

本県の山地災害危険地区は、24,520地区であり、民有林の36%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公益的機能の維持・保全に努めています。



間伐された人工林

森林が放置され荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公益的機能が損なわれてしまいます。
 県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

水産業

1 漁業経営体



本県の漁業経営体数は、年々減少傾向にあります。組織別の内訳は、2018年で、個人96%、団体4%となっています。

2 漁業従事者

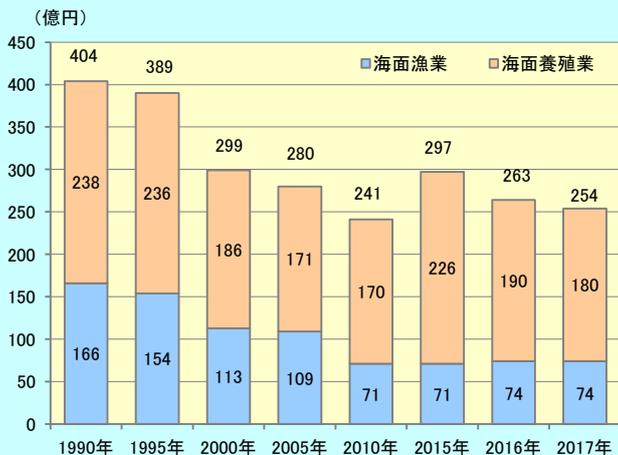


本県の漁業従事者は、年々減少傾向にあります。

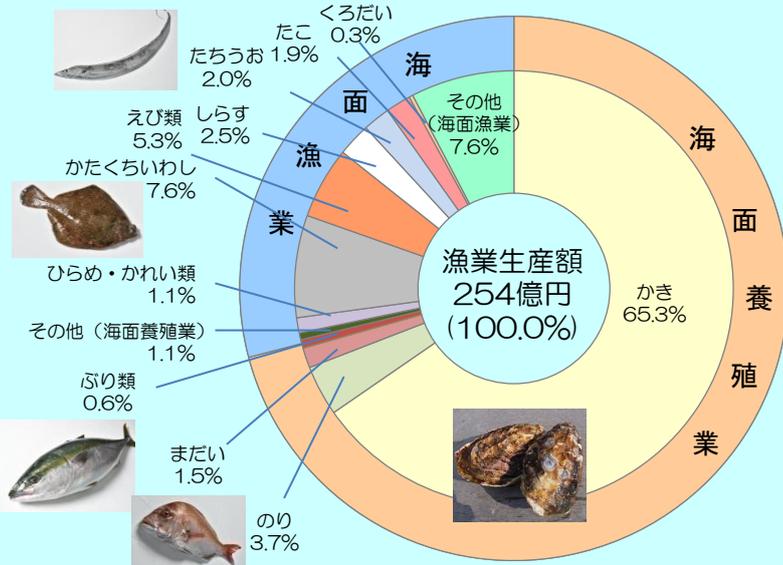
3 漁業生産

本県の漁業生産額は、かきが約7割を占めています。海面漁業では小型漁船による一本釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われています。

【漁業産出額の推移】



【漁業産出額の魚類別構成比 (2017年)】



※まだい及びぶり類は海面漁業+海面養殖業の生産額合計

4 かきの生産量

【広島かき生産・出荷量の推移】



2018年漁期の総生産量は、17,400 t (生鮮向け7,400 t 加工向け10,000 t) で全国1位です。全国シェアの6割以上を占め、品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。

かき小町 (写真: 右)



夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきとして出荷されます。



オニオコゼ

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）

- 広島県の農林水産業施策は、平成22年12月に策定した「ひろしま未来チャレンジビジョン」の農林水産分野の計画である「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」（以下、「チャレンジプラン」という。）に基づき、令和2年（2020年）のめざすべき将来像（ビジョン）を描いた上で、平成27年度に達成すべき目標を掲げて取組を進めてきました。
- 平成26年11月には、チャレンジプランで設定した令和2年度の目指す姿に到達するため、重点的に取り組む項目を明確にした上で、平成27～29年度の3年間を期間とする具体的な事業計画である「2020広島県農林水産業チャレンジプラン アクションプログラム（第Ⅰ期）」を策定し、取組を進めてきました。
- この度、アクションプログラム（第Ⅰ期）が終期を迎えるため、この間の成果と課題を検証しつつ、農林水産業を取り巻く環境変化を踏まえ、平成30～令和2年度の3年間の県の実行計画として「ひろしま未来チャレンジビジョン農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」（以下、「第Ⅱ期計画」という。）を策定しました。
- 第Ⅱ期計画の実行期間：3年間／平成30（2018）～令和2（2020）年度
- この計画の考え方
 - 農業・畜産業・林業・水産業の各分野において、中長期的に目指していく姿を見据えた上で、3年間で達成すべき目標（指標）を掲げ、具体的に取り組む活動を、整理したものです。
 - 「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指すことができるよう、県が主体となって重点的に取り組む内容と、達成すべき目標（指標）を明確化します。
 - 「ひろしま未来チャレンジビジョン」の施策体系と整合させた上で、四半期ごとの点検を行う等、定期的に検証しながら改善を図り、県総体の施策と一体的なマネジメントを推進します。
 - 計画に定める達成すべき目標（指標）と地域単位における具体的な取組との整合性を図り、成果志向による活動を加速化させます。
- 施策体系と主な県の取組内容

施策体系		主な県の取組内容	
新たな経済成長	農業	重点品目の拡大による担い手を中心とした生産構造への転換 ≪重点品目≫ キャベツ、トマト、ほうれんそう等軟弱野菜、ねぎ等、アスパラガス、レモン、水稲	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成（新規就農者の育成・確保、企業参入の促進） ・優良農地の確保（優良農地の担い手への集積、生産性の高いほ場の整備） ・生産性の向上（機械・施設の整備、農業労働力の確保） ・経営力の向上（スマート農業の推進、GAPの推進） ・販売力の強化
	畜産業	広島和牛のブランド創造と生産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド価値向上に資する本県和牛の強みの確立 ・肥育経営体の経営発展（大規模化、繁殖肥育一貫化等） ・広島系統和牛子牛の安定調達体制の構築
	林業	森林資源経営サイクルの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・経営サイクルが成り立つ林地での主伐・再造林の促進 ・現場技能者の確保・育成 ・林業経営者の育成等による安定的な生産体制の構築
		森林資源利用フローの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の連携等による効率的な流通・加工体制の構築 ・生産量の増加に応じた需要の確保
	水産業	瀬戸内水産資源の増大と担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・重点魚種の資源増大と瀬戸内地魚のブランド確立 ・担い手の確保・育成
		かき生産体制の構造改革	<ul style="list-style-type: none"> ・周年を通じた生食用殻付かきの安定供給体制の構築と新たな需要喚起と魅力向上によるブランド力向上 ・天然採苗の安定化によるかきの安定供給
	安心な暮らしづくり	安全・安心な農林水産物の提供体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心を提供する生産管理体制の強化 ・食品表示等監視指導の強化と消費者の理解促進
		インフラの防災機能向上	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の維持管理体制の強化 ・農業用水利施設や治山施設等の整備
	豊かな地域づくり	持続的な農業生産活動の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの共同活動を推進する仕組みづくり ・鳥獣害被害の縮減と指導体制の整備
		森林の公益的機能の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・公益的機能の低下が懸念される森林の整備 ・県民参加による森づくりの推進
健全な水循環等の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水施設の保全対策等による機能維持 	

第Ⅱ期計画に掲げる農林水産業の主な目標値と達成状況

項目	2018年実績	目標		
		2019年	2020年	
農業	農産物生産額に占める担い手による生産額の割合	60.6%	63.0%	65.7%
	担い手への農地集積面積	13,097ha	20,300ha	22,000ha
	キャベツ販売額	3.5億円	14.0億円	16.0億円
	トマト販売額	26.4億円	31.5億円	34.0億円
	ほうれんそう等販売額	19.8億円	19.0億円	22.0億円
	ねぎ等販売額	24.1億円	40.9億円	45.0億円
	アスパラガス販売額	5.9億円	9.0億円	10.0億円
畜産業	肥育牛飼養頭数	6,220頭	6,090頭	6,200頭
	レモン販売額	16.7億円	21.3億円	22億円
林業	県産材（スギ・ヒノキ）生産量	32.9万m ³ /年	37.7万m ³ /年	40万m ³ /年
	製材品の県内消費量における県産材割合	16.2%	19.2%	20.0%
水産業	漁業生産額（海面漁業）※イワシ類、アサリ除く	47.5億円（2017年）	44.0億円	44.1億円
	かき生産額	169億円	180億円	180億円

広島県農林水産業の主要指標

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
農業					
総農家数	2015	戸	56,673	2,155,082	15
販売農家数	2015	〃	28,169	1,329,591	22
主業農家数	〃	〃	2,612	293,928	33
準主業農家数	〃	〃	4,799	257,041	20
副業の農家数	〃	〃	20,758	778,622	12
農家人口（販売農家）	2015	人	87,341	4,880,368	24
（うち女性比率）	〃	%	50.7	50.2	11
（うち65歳以上比率）	〃	〃	46.9	38.6	2
農業就業人口（販売農家）	2015	人	37,949	2,096,662	25
（うち女性比率）	〃	%	50.1	48.1	7
（うち65歳以上比率）	〃	〃	76.8	63.5	3
基幹的農業従事者（販売農家）	2015	人	31,308	1,753,764	26
（うち女性比率）	〃	%	43.6	42.7	18
（うち65歳以上比率）	〃	〃	80.1	64.6	3
耕地面積	2019	ha	54,100	4,397,000	28
（田）	〃	〃	40,600	2,393,000	24
（畑）	〃	〃	13,500	2,004,000	30
（1戸当たり平均耕地面積）	2015	〃	0.99	2.09	38
農作物作付延面積	2018	〃	41,700	4,048,000	31
耕地利用率	2018	%	76.1	91.6	45
耕作放棄地面積	2015	ha	11,888	423,064	12
農業産出額	2018	億円	1,187	91,283	27
（米）	〃	〃	263	17,513	25
（野菜）	〃	〃	234	23,212	30
（果実）	〃	〃	165	5,406	14
（花き）	〃	〃	31	3,327	32
（畜産）	〃	〃	474	32,589	17
生産農業所得	2018	〃	395	34,562	31

資料：2015農林業センサス他

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
林業					
森林面積	2015	ha	608,812	24,432,757	10
国有林	〃	〃	47,255	7,175,516	20
民有林	〃	〃	569,368	17,626,761	7
うち保安林	2015	〃	214,474	5,249,856	4
森林蓄積総数	2017	千m ³	110,405	5,241,502	19
林家数	2015	戸	41,953	828,973	2
森林組合数	2017	数	15	621	14
森林組合員数	2017	人	73,551	1,511,674	3
林業産出額	2018	千万円	771	46,344	20
（木材生産）	〃	〃	321	22,787	21
木材（素材）生産量	2018	千m ³	339	21,640	21
木材（素材）需要量	2018	〃	2,071	26,545	2
外材（素材）需要量	2018	〃	1,685	4,905	1
林野火災被害面積	2018	ha	23	938	27
松くい虫被害量	2018	千m ³	11	352	9
水産業					
漁業経営体数	2018	経営体	2,162	79,067	15
海面漁業（延数）	〃	〃	1,829	65,117	14
海面養殖業（延数）	〃	〃	333	13,950	14
漁業就業者数	2018	人	3,327	151,701	19
漁業生産量	2017	t	123,439	4,244,076	12
海面漁業	〃	〃	16,106	3,258,020	31
海面養殖業	〃	〃	107,243	986,056	1
かき養殖	〃	〃	103,454	173,900	1
内水面漁業	〃	〃	21	25,215	29
内水面養殖業	〃	〃	69	36,839	27
漁業生産額	2017	億円	254	14,606	18
海面漁業	〃	〃	74	9,627	30
海面養殖業	〃	〃	180	4,979	14
かき養殖	〃	〃	166	334	1

多面的な役割を持つ農林水産業・農山漁村

【本県における農業・農村の公益的機能の評価額】

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割
合計	1,502	

【本県における森林の公益的機能の評価額】

（単位：億円/年）

水源かん養	5,300	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化し、洪水や濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の仮想植生や落葉枝が地表の侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根茎を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	516	森林が人にやすらぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部（平成14年）による推計値
注：機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能に過ぎないことから、合計値は参考とします。